



令和7年度 シラバス

第1学年



北海道平取高等学校

令和7年度年間計画

教科	国語	学年	1	使用 教材	新編 現代の国語
科目	現代の国語	単位	2		必携国語総合セミナー

1 科目の目標（学習指導要領より）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で適切に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
B	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
C	言葉を通じて積極的に他者に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使っている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことをノートに記録する ・単元テストに向けて学びをまとめる ・課された課題を期限内に適切に提出する ・タブレットなどを適切に使用する ・適切な文字を丁寧に書く

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	目指す世界の地図を作る わかりやすく話す 総探③	話す こと 聞く こと 3	a	表現の工夫をし、配慮した話し方ができている。	観察 提出物 単元テスト
			b	目的に応じた伝える内容の検討ができている。	
			c	積極的に言語活動に取り組むことができている。	
	必要な情報を整理して書く 総探④	書く こと 3	a	伝えるべき内容についての評価ができている。	観察 提出物 単元テスト
			b	伝える工夫が見られる書き方ができている。	
			c	伝えることを工夫した記述ができている。	
	地球を旅する水の話 総探④	書く こと 5	a	適切な場面で正しい常用漢字を使用することができる。	観察 提出物 単元テスト
		b	調べたことをワークシートにまとめることができている。		
		c	伝えることを工夫した記述が出来る。		
時間とは何か	読む こと 5	a	内容について関連した本を探することができる。	観察 提出物 単元テスト	
		b	内容を的確に要約した文章と意見を書くことができる。		
		c	単元の学習から関連分野に関する知識を増やすことができている。		
水の東西 比較する 総探④	書く こと 6	a	論理構造を確認することができる。	観察 提出物 単元テスト	
		b	違う語句を用い同じ意味の文章を書くことができる。		
		c	伝えることを工夫した記述ができている。		
適切に話す・聞く スピーチ 総探③	話す こと 聞く こと 3	a	自分の考えを表現するのに相応しい言葉を考えることができる。	観察 提出物 単元テスト	
		b	説得力を持った話し方をする工夫をすることができる。		
		c	場面に応じた話し方を考えることができている。		

写真を文章で説明する 総探④	書く こと 5	a 正確に伝えるために必要な情報を判断することができる。 b 情報の分量を把握し、指定字数で表現できている。 c 伝えるための工夫をした記述ができている。	観察 提出物 単元テスト
話し合いの方法 ディベート・討議 総探③	話す こと 聞く こと 5	a 語彙を豊かにすることができる。 b 情報から新しい考えを持つことができるようになる。 c 場面に応じた話し合いを考えることができる。	観察 提出物 単元テスト
コインは円形か 文章構造を理解する 総探④	書く こと 7	a 各自の推論を比較することができる。 b 物を対比した文章を書くことができる。 c 伝えることを工夫した記述ができている。	観察 提出物 単元テスト

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
後 期	語幹トレーニング	読む こと 5	a 語彙を豊かにすることができる。 b 理解した内容を発表することができる。 c 積極的に言語活動に取り組むことができる。	観察 提出物 単元テスト
	科学と非科学 要約する 総探④	書く こと 8	a 接続詞を効果的に使用することができる。 b 伝える工夫が見られる書き方ができている。 c 伝えることを工夫した記述ができている。	観察 提出物 単元テスト
	非言語コミュニケーション 総探③	話す こと きく こと 4	a 情報の真偽を確認する大切さを考えることができる。 b 話し合いの仕方を工夫することができる。 c 場面に応じた話し方を理解するこ	観察 提出物 単元テスト

				とができています。	
発表の方法 プレゼンテーション 総探③	話す こと 聞く こと 5	a b c	a b c	自身の意見を補強する引用ができています。 機材を効果的に使用しメッセージを送ることができています。 場面に応じた話し方を理解することができています。	観察 提出物 単元テスト
「差」という情報 意見文を書く 総探④	書く こと 6	a b c	a b c	レトリックに関心をもつことができています。 文章を推敲することができています。 伝えることを工夫した記述ができています。	観察 提出物 単元テスト

令和7年度年間計画

教科	国語	学年	1	使用 教材	新編 言語文化
科目	言語文化	単位	2		完全マスター古典文法

1 科目の目標（学習指導要領より）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で適切に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能が身についている。 我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。
B	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の持つ価値への認識を深めている。 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> 学んだことをノートに記録する 小テスト、単元テストに向けて学びをまとめる 課された課題を期限内に適切に提出する 辞書ツールなどを適切に使用する 適切な文字を丁寧に書く

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	「とんかつ」	読む こと 近4	a	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	観察 単元テスト 課題
			b	文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に的確に捉えている。	
			c	進んで方言を含めた言葉の特徴や使い方を考えている。	
	「羅生門」	読む こと 6	a	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。	観察 単元テスト 課題
		b	読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。		
		c	「羅生門」を原作と読み比べて、積極的に作品の特徴について考えようとしている。		
	児のそら寝 検非違使忠明	読む こと 古6	a	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	観察 単元テスト 課題
		b	読むことにおいて作品や文章に表れてるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		
		c	粘り強く古典特有の表現を理解し、古典の世界に親しもうとしている。		
	高名の木登り ある人、弓射ることを習ふに 丹波に出雲といふ所あり	読む こと 古6	a	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	観察 単元テスト 課題

			<p>b 読むことにおいて作品の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化についての考えをもっている。</p> <p>c 随筆表現の面白さを今までの学習に生かして発見しようとしている。</p>	
短歌	総探④	書くこと 4	<p>a 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現とその効果について理解している。</p> <p>b 書くことにおいて自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現している。</p> <p>c 自ら進んで好きな歌を選んで鑑賞文を書こうとしている。</p>	観察 単元テスト 課題
「側転の三夏」 「春や春」		読むこと 近4	<p>a 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。</p> <p>b 読むことにおいて文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>c 今までの学習を生かして作品世界で俳句がどのように機能しているかを考えながら、登場人物に迫ろうとしている。</p>	観察 単元テスト 課題

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準	評価方法
後期	「芥川」 「筒井筒」	読むこと 古6	<p>a 時間の経過や地域の文化的特徴などによる見時や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</p>	観察 単元テスト 課題

		<ul style="list-style-type: none"> b 読むことにおいて作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c 今までの学習を活かし、和歌に込められた心情を読み取ろうとしている。 	
万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 総探④	書くこと 6	<ul style="list-style-type: none"> a 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現とその効果について理解している。 b 書くことにおいて自分の体験や思いが効果的に伝わるように、描写、語句などの表現を工夫している。 c 学習課題に沿って和歌を解釈できている。 	観察 単元テスト 課題
「名人伝」 「山月記」	読むこと 近6	<ul style="list-style-type: none"> a 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b 読むことにおいて作品の成立した背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c 粘り強く、多様な表現による主人公の内面を読み取ろうとしている。 	観察 単元テスト 課題
木曾の最後	読むこと 古5	<ul style="list-style-type: none"> a 文語や君奥のきまり、古典特有の表現などについて理解ができている。 b 読むことにおいて作品に表現されているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できている。 c 粘り強く物語を読み、その描かれた心情や人間像を読み取ろうとしている。 	観察 単元テスト 課題
訓読のきまり 格言	読むこと 古8	<ul style="list-style-type: none"> a 古典文化に影響を与えた漢文文化を理解する基礎を身につけようとしている。 	観察 単元テスト 課題

			<p>b 漢文を読むことで構成、表現方法の特色を掴むことができている。</p> <p>c 進んで漢文を身近に感じようとしている。</p>	
	<p>「漁夫の利」 「虎の威を借る狐」 「管鮑の交わり」</p>	<p>読む こと 古9</p>	<p>a 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>b 読むことについて作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>c 学習課題に沿い故事成語として親しまれている言葉を集めようとしている。</p>	<p>観察 単元テスト 課題</p>

令和7年度年間計画

教科	地理歴史	学年	1	使用教材	高等学校 新地理総合
					標準高等地図
科目	地理総合	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成する。	
(1)	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解する。
(2)	地理的事象を多面的・多角的に考察する力、地理的な課題の解決に向けて高志する力を養う。
(3)	地理的な課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	地理的な情報を収集する・読み取る・まとめる技能を習得している。
B	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察するとともに、社会に見られる課題を「地理的な課題」として考察する。
C	持続可能な地域づくりや自然災害への備え、防災の課題について、主体的に追求、解決しようとしている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関する基本的な知識を身につけるとともに、現代の日本や世界の動向に意識を向ける。 ・現代世界の地域構成を地図や地理情報システムを用いて学習し、汎用的な地理的技能を習得する。 ・様々な課題に対して、どのような解決方法があるのかをレポート作成や討論を通じて考察する。
--

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法	
前期	第1部 地図でとらえる現代世界 総探② 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	2 2	a	日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト	
			b	地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目し、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。		
			c	地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
	第2章 結び付きを深める現代世界 総探②③ 6節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	3 3	a	現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。		
			b	現代世界の地域構成について、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。		
			c	現代世界の地域構成について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
	第2部 国際理解と国際協力 第6章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 6節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	2 3 5 4	a	世界の人々の特色ある生活文化の耐用性が地理的環境からの影響と密接に関わることを理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について理解している。		ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定		

	3節 世界の言語・宗教と人々の生活	5		し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
	4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	2	c	生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準		評価方法
後期	第2章 地球の課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球の課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	1 3 4 4 4 4	a	世界各地でみられる地球環境問題などのさまざまな課題を基に、地球の課題の各地の共通点や課題相互の関連性を理解し、その解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることについて理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	世界各地でみられる地球環境問題などの諸課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	地球の課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>総探①②③④</p> <p>1節 日本の自然環境 3</p> <p>2節 地震・津波と防災 4</p> <p>3節 火山災害と防災 4</p> <p>4節 気象災害と防災 4</p> <p>5節 自然災害への備え 4</p>	a	我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解するとともに、ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身につけている。	<p>ペアワーク</p> <p>グループ討議</p> <p>レポート</p> <p>学習の振り返り</p>
	b	地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
	c	自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

令和7年度年間計画

教科	数学	学年	1	使用教材	新編 数学 I
					新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学 I +A
科目	数学 I	単位	3		

1 科目の目標（学習指導要領より）

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
(1)	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>
(2)	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p>
(3)	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	<ul style="list-style-type: none"> 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習方法

対面授業、グループワーク、ワークシート（振り返りシート等）の利用、情報機器の利用、宿題・小テストの実施など

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
前 期	第1章 数と式 第1節 式の計算 1 多項式の加法と減法 2 多項式の乗法 3 因数分解 第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 第3節 1次不等式 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式	 3 3 6 2 4 2 2 3	a <ul style="list-style-type: none"> • 数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 • 2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 • 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 b <ul style="list-style-type: none"> • 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 • 1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 • 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え1次不等式を問題解決に活用することができる。 c <ul style="list-style-type: none"> • 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 • 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	行動観察 ワークシート 小テスト 課題提出 単元テスト など

	<p>第3章 2次関数</p> <p>第1節 2次関数とグラフ</p> <p>1 関数とグラフ 2</p> <p>2 2次関数のグラフ 7</p> <p>第2節 2次関数の値の変化</p> <p>3 2次関数の最大・最小 5</p> <p>4 2次関数の決定 3</p> <p>第3節 2次方程式と2次不等式</p> <p>5 2次方程式 4</p> <p>6 2次関数のグラフとx軸の位置関係 3</p> <p>7 2次不等式 8</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 • 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 • 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 • 2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 • 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 • 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 • 事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 • 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>小テスト</p> <p>課題提出</p> <p>単元テスト</p> <p>など</p>
--	---	----------------------------	---	--

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法		
後 期	第4章 図形と計量		a	<ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 	行動観察 ワークシート 小テスト 課題提出 単元テスト など		
	第1節 三角比						
	1 三角比	6					
	2 三角比の相互関係	3					
	3 三角比の拡張	5					
	第2節 三角形への応用						
	4 正弦定理	2					
	5 余弦定理	3					
	6 正弦定理と余弦定理の応用	2					
	7 三角形の面積	3					
	8 空間図形への応用	3					
						b	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。
						c	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	第5章 データの分析					a	<ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標
1 データの整理	1						
2 データの代表値	1						
3 データの散らばりと四分位数	3						
4 分散と標準偏差	2						

<p>5 2つの変量の間 の関係</p> <p>6 仮説検定の 考え方</p> <p>総探②③④</p>	<p>3</p> <p>2</p>	<p>b</p> <p>c</p>	<p>準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 具体的な事象において仮説検定の考え理解している。 • データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 • 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 • 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 • 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 • 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	
<p>第2章 集合と命題</p> <p>1 集合</p> <p>2 命題と条件</p> <p>3 命題とその 逆・裏・対偶</p> <p>4 命題と証明</p> <p>総探②③④</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>1</p> <p>2</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 • 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 • 事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 • 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善した 	

				りしようとしている。	
--	--	--	--	------------	--

令和7年度年間計画

教科	数学	学年	1	使用教材	新編 数学 A
					新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学 I +A
科目	数学 A	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
(1)	<p>図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>
(2)	<p>図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。</p>
(3)	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う</p>

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習方法

対面授業、グループワーク、ワークシート（振り返りシート等）の利用、情報機器の利用、小単元テストの実施など

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法		
前期	第1章 場合の数と確率			行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など		
	第1節 場合の数					
	1 集合の要素の 個数	4	a		<ul style="list-style-type: none"> 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 	
	2 場合の数	3			<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 	
	3 順列	7				
	4 組合せ	7	b		<ul style="list-style-type: none"> 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 	
					c	<ul style="list-style-type: none"> 事象を場合の数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	第2節 確率		a		<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 	
	5 事象と確率	3				
	6 確率の基本性質	5				
7 独立な試行と 確率	3					
8 条件付き確率	2		<ul style="list-style-type: none"> 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 			
9 期待値	4	B	<ul style="list-style-type: none"> 確率の性質や法則に着目し、確 			

			c	<p>率を求める方法を多面的に考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	
--	--	--	---	---	--

年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準		評価方法
後期	第2章 図形の性質		a	<ul style="list-style-type: none"> 三角形に関する基本的な性質について理解している。 円に関する基本的な性質について理解している。 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠 	<p>行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など</p>
	第1節 平面図形				
	1 三角形の辺の比	3			
	2 三角形の外心・内心・重心	4	b		
	3 チェバの定理・メネラウスの定理	4			
	4 円に内接する四角形	4			
	5 円と直線	4			
6 2つの円	2				
	7 作図	4	c		

	<p>第2節 空間図形</p> <p>8 直線と平面</p> <p>9 空間図形と多面体</p>	<p>3</p> <p>4</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>に基づき判断しようとしたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 • 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 • 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 • コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 • 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 • 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	
--	--	-------------------	----------------------------	---	--

令和7年度年間計画

教科	理科	学年	1	使用 教材	化学基礎
科目	化学基礎	単位	2		ニューサポート新編化学基礎

1 科目の目標（学習指導要領より）

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	
(1)	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。
(2)	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
B	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
C	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> 授業中は説明や指示を集中して聞き、教科書を読んでも分からない場合や疑問に感じたことは積極的に質問する。 ノートは後で自分が復習するために、自分にとって分かりやすいノートを作成する。（板書のコピーではなくオリジナルなノートをつくる）
--

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	1 編 化学と人間生活				
	1 章 化学とは何か	2	a	物質の成分と構成元素について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
	2 章 物質の成分と構成 元素 総探②	10	b	物質の成分と構成元素について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	物質の成分と構成元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 編 物質の構成				
	1 章 原子の構造と元素 の周期表	11	a	原子の構造と元素の周期表について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	原子の構造と元素の周期表について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	原子の構造と元素の周期表に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 章 化学結合	12	a	化学結合について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	化学結合について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
c			化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト	

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	3 編 物質の変化				
	1 章 物質と化学反応式	15	a	物質と化学反応式について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	物質と化学反応式について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 章 酸と塩基	10	a	酸と塩基について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	酸と塩基について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	酸と塩基に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	3 章 酸化還元反応 総探②③④	10	a	酸化還元反応について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
c			酸化還元反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト	

令和7年度年間計画

教科	保健体育	学年	1	使用教材	現代高等保健体育
					現代高等保健体育ノート
科目	体育	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
(1)	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p>
(2)	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p>
(3)	<p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。</p>
B	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>
C	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。</p>

3 学習方法

<p>①学校指定ジャージを着用する。</p> <p>②授業で使用するワークシートに記録し提出する。</p> <p>③授業で設定する課題解決に向けて努力する。</p> <p>④課題提出を求められたときは、期限までに提出する。</p> <p>⑤わからないことは積極的に質問し解決できるよう心がける。</p>

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
前期	陸上競技・体づくり運動 総探① 総探② 総探③	11	a ①陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。 ②技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他
			a ①リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ②呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ③自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	観察 その他
			b ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	観察 ワークシート 記述 その他

			<p>②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>③選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>④健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>⑤ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。</p> <p>⑥体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>⑦陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p>	
		c	<p>①陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</p> <p>③仲間と互いに合意した自己の役割を果たそうとしている。</p> <p>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> <p>⑤健康・安全を確保している。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
<p>体づくり運動 総探① 総探② 総探③</p>	8	a	<p>①定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>

			<p>②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③運動を計画して行う際は、どのようなねらいをもつ運動か、偏りがいないか、自分に合っているかなどの運動の原則があることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であることを言ったり書き出したりしている。</p>	
		a	<p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。</p> <p>②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。</p> <p>③緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。</p> <p>④いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。</p> <p>⑤仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。</p>	<p>観察 その他</p>

		a	<p>①健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むことができる。</p> <p>②運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むことができる。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
		b	<p>①ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>②健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。</p> <p>③課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>④体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
		c	<p>①主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>③一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>

				<p>④自己や仲間の課題解決に向けた話し合いに貢献しようとしている。</p> <p>⑤自分や仲間の健康・安全を確保している。</p>	
	<p>体育理論(1)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展</p> <p>総探②</p>	3	a	<p>①スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していることを言ったり書き出したりしている。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれスポーツの高潔さなどが一層求められることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

			b	①スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
	球技（ネット型） 総探① 総探②	10	a	①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。 ②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを言ったり書き出したりしている。 ③ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ④練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他
			a	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ②ボールを相手側のコートの中へ打ち返すことができる。 ③攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げることができる。 ④ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。	観察 その他

			<p>⑤腕を強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。</p> <p>⑥ポジションの役割に応じて、捨ったりつないだり打ち返したりすることができる。</p>	
		b	<p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>③選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>④健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>⑤チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。</p> <p>⑥作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>⑦体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>⑧球技の成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

			c	<p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>③作戦などについての話合いに貢献しようとしている。</p> <p>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p> <p>⑤互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>⑥健康・安全を確保している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
	球技（ゴール型） 総探① 総探②	10	a	<p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
			a	<p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>②味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p>	<p>観察</p> <p>その他</p>

			<p>③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。</p> <p>④ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。</p> <p>⑤パスを出した後に次のパスを受け取る動きをすることができる。</p> <p>⑥ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れることができる。</p> <p>⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。</p> <p>⑧ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。</p>	
		b	<p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>③選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>④健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>⑤ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。</p> <p>⑥チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

				<p>⑦作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。</p> <p>⑧体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>⑨球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p>	
			c	<p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>③作戦などについての話合いに貢献しようとしている。</p> <p>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p> <p>⑤互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>⑥健康・安全を確保している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準	評価方法
後期	<p>器械運動</p> <p>総探①</p> <p>総探②</p> <p>総探④</p>	16	<p>a</p> <p>①技の名称や行い方では、学習する技の系、技群（マット・鉄棒）、グループの系統性の名称を理解できる。また、動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

			<p>②運動観察の方法では、自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③体力の高め方では、器械運動のパフォーマンスは、体力要素の中でも、それぞれの種目や系、技群（マット・鉄棒）、グループにより種目や技の動きに関連して筋力や柔軟性、平衡性などに強く影響されるため、補助運動や練習を継続して行うことで体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④発表会や競技会の行い方があり、発表会での評価方法、競技会での競技方法や採点方法、運営の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。</p>	
		a	<p>①体をマットに順々に接触させて回転するための動き方、回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回れる。</p> <p>②全身を支えたり、突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくするための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転できる。</p> <p>③開始・終末姿勢、組み合わせの動きや支持の仕方などの条件を変えて回る・回転できる。</p> <p>④基本的な技を発展させて、一連の動きで回る・回転できる。</p>	<p>観察 その他</p>

			<p>⑤バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて静止できる。</p> <p>⑥姿勢、体の向きなどの条件を変えて静止できる。</p> <p>⑦基本的な技を発展させて、一連の動きで静止できる。</p> <p>⑧基本的な技、条件を変えた技、発展技の中から、技の静止や組み合わせの流れに着目して「はじめ—なか—おわり」に用いる技を構成し、演技できる。</p>	
		b	<p>①選択した技の行い方や技の組合せ方について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>③選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>④健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>⑤仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。</p> <p>⑥体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>

			⑦器械運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	
		c	<p>①学習に自主的に取り組んでいる。</p> <p>②自己の状況にかかわらず、互いに讃え合おうとしている。</p> <p>③仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> <p>⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、自分や仲間の健康・安全を確保している。</p> <p>⑥話し合う場面で合意形成に貢献しようとしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
<p>体育理論(1)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展</p> <p>総探②</p>	2	a	<p>①スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に应运じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していることを言ったり書き出したりしている。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

			<p>③現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれスポーツの高潔さなどが一層求められることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを言ったり書き出したりしている。</p>		
			b	<p>①スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
			c	<p>①スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
	球技（ターゲット型）	8	a	<p>①カーリングを多様に実践するための事項を言ったり書き出したりしている。</p> <p>②カーリングを通してスポーツを推進及び発展するための事項を言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
			a	<p>①カーリングの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。</p> <p>②他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できる。</p> <p>③危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。</p>	<p>観察 その他</p>

			<p>④体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。</p> <p>⑤競技会などの目的に応じた企画や運営ができる。</p>	
		b	<p>①発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。</p> <p>②映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。</p> <p>③練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。</p> <p>④チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。</p> <p>⑤チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにカーリングを楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>⑦カーリングを行う際の参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりしている。</p> <p>⑧多様（目的、年齢、性別、経験、障害の有無など）な参加者と共に運動するための調整の仕方や競技会の運営方法等を提案している。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>

				<p>⑨運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。</p> <p>⑩スポーツの推進及び発展に向けた視点から、自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。</p>	
			c	<p>①公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。</p> <p>②多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に意欲をもっている。</p> <p>③地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもっている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
	<p>体育理論(1)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 総探②</p>	2	a	<p>①スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に應じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していることを言ったり書き出したりしている。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>

			<p>③現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれスポーツの高潔さなどが一層求められることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを言ったり書き出したりしている。</p>	
		b	<p>①スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>
		c	<p>①スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察 ワークシート 記述 その他</p>

令和7年度年間計画

教科	保健体育	学年	1	使用教材	現代高等保健体育
					現代高等保健体育ノート
科目	保健	単位	1		

1 科目の目標（学習指導要領より）

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。	
(1)	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
(2)	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3)	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
B	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
C	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> ①授業で使用するワークシートに記録し提出する。 ②授業で設定する課題解決に向けて努力する。 ③課題提出を求められたときは、期限までに提出する。 ④わからないことは積極的に質問し解決できるよう心がける。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	(1) 現代社会と健康				
	(ア) 健康の考え方 総探① 総探② 総探③	4	a	<p>①国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して言ったり書き出したりしている。</p> <p>②健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて言ったり書き出したりしている。</p> <p>③健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを言ったり書き出したりしている。</p>	ワークシート 記述 その他
			b	<p>①現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p>	観察 ワークシート 記述 その他
			c	<p>①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	観察 ワークシート 記述 その他

	<p>(オ) 精神疾患の予防と回復</p> <p>総探①</p> <p>総探②</p> <p>総探③</p>	5	<p>a</p> <p>①精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②精神疾患の予防と回復には、身体健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
			<p>b</p> <p>①現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
			<p>c</p> <p>①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
	<p>(ウ) 生活習慣病などの予防と回復</p> <p>総探①</p> <p>総探②</p> <p>総探③</p>	7	<p>a</p> <p>①がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適度な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

			b	①現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
	(工) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 総探① 総探② 総探③ 総探④	7	a	①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを言ったり書き出したりしている。 ②コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを言ったり書き出したりしている。	ワークシート 記述 その他
			b	①現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準		評価方法
後期	(1) 現代社会と健康				

<p>(イ) 現代の感染症とその予防</p> <p>総探①</p> <p>総探②</p> <p>総探③</p>	6	a	<p>①感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
		b	<p>①現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
		c	<p>①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>
<p>(2) 安全な社会生活</p>				
<p>(ア) 安全な社会づくり</p> <p>総探①</p> <p>総探②</p> <p>総探③</p> <p>総探④</p>	3	a	<p>①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②事故を防止したり事故の発生に伴う障害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境</p>	<p>ワークシート</p> <p>記述</p> <p>その他</p>

			の整備が必要であることを言ったり書き出したりしている。	
		b	①安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
		c	①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
(イ) 応急手当 総探① 総探② 総探③ 総探④	3	a	①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを言ったり書き出したりしている。また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを言ったり書き出したりしている。 ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができる。 ③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AED	ワークシート 記述 その他

				などを用いて心肺蘇生法ができる。	
			b	①安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①現代社会と健康・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他

令和7年度年間計画

教科	芸術	学年	1	使用 教材	音楽 I Tutti+
科目	音楽 I	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	曲想と音楽の構造や楽曲の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2)	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
(3)	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	音楽の構造や作品の背景を理解し、曲にふさわしい発声、ギター等の基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。
B	音色・速度・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの雰囲気を感じながら、表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを自ら味わい、自己のイメージや意図を持っている。
C	各楽器の奏法を身に付けることやアンサンブル活動に関心を持つと共に、歴史的背景に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> 必要な知識を学習プリントを使用し習得する。 基礎的・基本的な演奏技術の習得と定着を行うために、粘り強く練習する。 曲想や楽曲の背景をイメージし、独奏や重奏など、様々な表現形態による器楽演奏を行う。 音楽的な課題に対し、その多様性や美しさ等を感じ、考え、解決したか、感想やレポート等にまとめる。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	オリエンテーション	1			
		9	a	課題曲「クラブNo,1」を通して、音符・休符の種類を理解し、手拍子での表現を通して、音楽の理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・実技テスト
		b	自由曲を作曲する中で、主体的に考え、リズムが創りだすイメージを見だし、演奏表現する中で課題を解決する力を身につけている。		
	c	音楽に興味を持ち、積極的に練習や創作活動に主体的に取り組み、振り返って改善して、演奏技術を向上しようとしている。			
	ボディーパーカッション プリマスロック 総探①③	12	a	楽曲を通して、手拍子・足拍子を用い、表現を通して、音楽の理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・実技テスト ・作曲課題提出
	b	自由な表現の中で、速度や強弱などを主体的に考え、楽曲が創りだすイメージを見だし、演奏表現する中で課題を解決する力を身につけている。			
	c	音楽に興味を持ち、積極的に練習や創作活動に主体的に取り組み、振り返って改善して、演奏技術を向上しようとしている。			
	ミュージカル鑑賞	4	a	鑑賞した作品から、音楽の多様性や美しさ、他芸術との関連などに気づくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・感想シート
	b	構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、作品のよさや美しさを自ら味わって鑑賞できる。			
	c	ミュージカルの面白さに関心をも			

				ち、音楽やダンスなどを楽しみながら主体的・協働的に総合芸術鑑賞に取り組もうとしている。	
	ギター 簡単な旋律によるソロ	9	a b c	簡易なメロディー演奏を通して、ギターの演奏の基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。 メロディーの美しさを感じ、演奏表現する中で課題を解決する力を身につけている。 音楽に興味を持ち、積極的に練習に主体的に取り組む、振り返って改善して、演奏技術を向上しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・実技テスト

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準		評価方法
後期	ギター 簡単な旋律によるアンサンブル	12	a b c	簡易なメロディーをデュエット等のアンサンブル活動する中で、ギターの演奏の演奏知識・技能と音楽的知識を身につけている。 アンサンブル活動の中で、音の重なりを感じ、演奏表現する中で課題を解決する力を身につけている。 音楽に興味を持ち、積極的に練習に主体的に取り組む、振り返って改善して、演奏技術を向上しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・実技テスト
	きよしこの夜 自由なアンサンブルによる 総探①②③④	8	a b c	簡易なメロディーをデュエット等アンサンブル活動する中で、ギターの演奏の演奏知識・技能と音楽的知識を身につけている。 自由な形式のアンサンブルで、創意工夫した表現での「きよしこの夜」を演奏する中で課題を解決する力を身につけている。 音楽に興味を持ち、積極的に練習に主体的に取り組む、振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク ・コンサート形式実技テスト

				改善して、演奏技術を向上しようとしている。	
	ギターコード演奏 子守歌	6	a	簡易なコード伴奏（C・G7）を演奏する技能と音楽的知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> • グループワーク • 実技テスト
			b	アンサンブルで、創意工夫した表現での「子守歌」を演奏する中で課題を解決する力を身につけている。	
			c	音楽に興味を持ち、積極的に練習に主体的に取り組み、振り返って改善して、演奏技術を向上しようとしている。	
	ミュージカル鑑賞 レ・ミゼラブル	9	a	鑑賞した舞台芸術作品から、音楽の多様性や美しさ、他芸術との関連などに気づくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> • 感想シート
			b	物語の時代背景を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、作品のよさや美しさを自ら味わって鑑賞できる。	
			c	ミュージカルの面白さに関心を持ち、音楽やストーリーを楽しみながら主体的・協働的に総合芸術鑑賞に取り組もうとしている。	

※音楽理論は全単元において学習し、その都度小テストを実施します。

※感染症予防のため、実技の実施内容は変更することがあります。

※予定内容は実施過程で変更することがあります。

令和7年度年間計画

教科	外国語	学年	1	使用 教材	Power On English Communication I
					改訂第2版 キクタン【Entry】2000 語 レベル
科目	英語コミュニケ ーションI	単位	3		

1 科目の目標（学習指導要領より）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	
(1)	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
(2)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	外国語の技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。
B	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
C	外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

3 学習方法

基礎的な単語力と文法力を定着させ、伸ばすためには、繰り返し取り組むことが重要です。そのためにも積極的に家庭での学習に取り組むことが重要になります。また、あらゆる学習活動を通じて、英語でのコミュニケーションに積極的に取り組もうとする姿勢が重要です。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	Lesson 2 Light from Creatures	9	a	英語の語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。	
			c	話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合おうとしている。	
	Lesson 1 Japan's New Tourism 異文化交流 ①②③④ 単元テスト	14	a	日本の観光についての情報や考えを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	単語テスト 課題提出 異文化交流 の取り組み
		b	外国からみた日本をテーマに、聞いたり読んだりしたことを基に質問を考え、実際に外国人とやり取りをし、理解している。		
		c	外国からみた日本をテーマに、聞いたり読んだりしたことを基に質問を考え、実際に外国人とやり取りをし、理解しようとしている。		
	Lesson 3 Routes to the Top	9	a	好きなスポーツ選手についての情報や考えを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	単語テスト 単元テスト 課題提出
		b	話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。		
		c	話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合おうとしている。		

	Lesson 4 Left to Right, Right? 総探 ①② 単元テスト	9	<p>a 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>b 日本文化についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。</p> <p>c 日本文化についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。</p>	単語テスト 単元テスト 課題提出
	Lesson 5 Banana Paper 総探①② Speaking Test	12	<p>a 好きな果物やバナナペーパープロジェクトについての情報や考えを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p> <p>b 環境問題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。</p> <p>c 環境問題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。</p>	単語テスト Speaking Test 課題提出

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準	評価方法
後期	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	9	<p>a 英語の語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>b 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。</p> <p>c 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合おうとしている。</p>	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出

<p>Lesson 7 No Plastic or No Future 総探 ①② 単元テスト</p>	<p>9</p>	<p>a b c</p>	<p>書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>環境問題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。</p> <p>環境問題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。</p>	<p>単語テスト 単元テスト 発表 課題提出</p>
<p>Lesson 8 Oh My Cod</p>	<p>9</p>	<p>a b c</p>	<p>食糧資源についての情報や考えを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p> <p>話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。</p> <p>話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合おうとしている。</p>	<p>単語テスト 単元テスト 発表 課題提出</p>
<p>Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? 単元テスト</p>	<p>9</p>	<p>a b c</p>	<p>e スポーツについての情報や考えを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p> <p>e スポーツについての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。</p> <p>e スポーツについての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。</p>	<p>単語テスト 単元テスト 発表 課題提出</p>

	<p>Lesson 10 Being Different Is Beautiful 総探①② Speaking Test</p>	12	<p>a 英語の語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>b 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。</p> <p>c 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合おうとしている。</p>	<p>単語テスト 単元テスト 発表 課題提出</p>
--	--	----	---	--

令和7年度年間計画

教科	外国語	学年	1	使用 教材	MY WAY Logic and Expression I
					MY WAY Logic and Expression I WORKBOOK
科目	論理表現 I	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	
(1)	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
(2)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くこと、による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。
B	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
C	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3 学習方法

- (1)オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2)ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4 サイズ)を必ず用意してください。
- (3)この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。これまで学習し、身につけてきた英語力をさらに伸ばすことが目的となりますので、必ずこれまでの復習を大事にしてください。
- (4)特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、ディベート、プレゼンテーション、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準		評価方法
前期	Lesson 1 時制（現在形）に関わる表現	6	a	時制に関わる表現（現在形）について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	初対面のあいさつや自己紹介を考えて、伝え合ったり書いたりしている。	
			c	初対面のあいさつや自己紹介を考えて、伝え合ったり書いたりしようとしている。	
	Lesson 2 時制（過去形、進行形）に関わる表現	6	a	時制に関わる表現（過去形、進行形）について理解を深めている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
			b	部活動、学校、町の紹介文を考え、伝え合ったり書いたりしている。	
			c	部活動、学校、町の紹介文を考え、伝え合ったり書いたりしようとしている。	

Lesson 3 時制（未来表現）に関わる表現	6	a b c	時制に関わる表現（未来表現）について理解を深めている。 好きな絵などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。 好きな絵などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
Lesson 4 時制（現在完了、現在完了進行形）に関わる表現	7	a b c	時制に関わる表現（現在完了、現在完了進行形）について理解を深めている。 料理や日本の食文化などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。 料理や日本の食文化などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
Lesson 5 助動詞、受動態を使った表現	8	a b c	助動詞や受動態を使った表現について理解を深めている。 道案内や地域の特徴などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。 道案内や地域の特徴などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。	授業プリントの取り組み 活動への参加態度 パフォーマンステスト 単元テスト 自己評価（振り返りシートなどの記述内容）

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準	評価方法
後期	Lesson 6 不定詞を使った表現	6	a 不定詞を使った表現について理解を深めている。	授業プリントの取り組み

			<p>b 買い物や行ってみたい場所などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。</p> <p>c 買い物や行ってみたい場所などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。</p>	<p>活動への参加態度</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>単元テスト</p> <p>自己評価（振り返りシートなどの記述内容）</p>
Lesson 7 動名詞、分詞を使った表現	8	<p>a 動名詞、分詞を使った表現について理解を深めている。</p> <p>b スポーツの試合や競技などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。</p> <p>c スポーツの試合や競技などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。</p>	<p>授業プリントの取り組み</p> <p>活動への参加態度</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>単元テスト</p> <p>自己評価（振り返りシートなどの記述内容）</p>	
Lesson 8 比較表現	6	<p>a 比較表現を使った表現について理解を深めている。</p> <p>b 科学技術などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。</p> <p>c 科学技術などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。</p>	<p>授業プリントの取り組み</p> <p>活動への参加態度</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>単元テスト</p> <p>自己評価（振り返りシートなどの記述内容）</p>	
Lesson 9 関係代名詞を使った表現	7	<p>a 関係代名詞を使った表現について理解を深めている。</p> <p>b 病院や健康などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。</p> <p>c 病院や健康などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。</p>	<p>授業プリントの取り組み</p> <p>活動への参加態度</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>単元テスト</p> <p>自己評価（振り返りシート</p>	

				などの記述内容)
Lesson 10 関係副詞、仮定法を使った表現	10	a b c	<p>関係副詞、仮定法を使った表現について理解を深めている。</p> <p>SDGs などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしている。</p> <p>SDGs などについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりしようとしている。</p>	<p>授業プリントの取り組み</p> <p>活動への参加態度</p> <p>パフォーマンス</p> <p>テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>自己評価（振り返りシートなどの記述内容)</p>

令和7年度年間計画

教科	家庭科	学年	1 学年	使用 教材	クリエイティブ・リビング Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう
科目	家庭基礎	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を掴るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
(3)	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。
B	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。
C	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使用し、必要な知識を習得する。 実習を行い、基礎的・基本的な技術の習得と定着を行う。
--

・学習における課題に対して、どのように思考し、判断し、解決したかを、レポートやワークシートなどにまとめる。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	第1章生活のマネジメント ・生涯、発達し続ける ・意思決定を重ねてつくる人生 ・どんな生き方をする？	2	a	様々な生き方があることを理解し、意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
		b	生涯を見通した自己の生活について考え、課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する。		
		c	生涯の生活課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
	第2章 青年期の課題と自立 ・子どもからおとなへ ・自立の達成をめざそう	2	a	自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深めている。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
		b	自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、協力して家庭を築くことの重要性について考えている。		
		c	青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題解決に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
	第3章 家族・家庭生活のマネジメント ・家族って何だろう ・わかってくれて当然？ ・生活マネジメントの拠点 ・法律から見る家族 ・ダイバーシティの実現をめざす 総探①②③	5	a	現代の家族の特徴とその変化や、家庭の機能について理解している。また、多様性を意識して考えることができる。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
		b	社会制度としての家族について考えを深め、まとめたり、発表している。		
		c	家族のありかたや社会とのかかわりについて関心を持ち、家族問題解決方法を考えようとしている。ま		

				た、ダイバーシティの社会を実現することの大切さについて考えようとしている。	
第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	8	a	乳幼児期特有の体の成長・発達の特徴や接し方について、生活から得られるあらゆる刺激がその子の人間形成につながっていることを理解する。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト	
・子どもの世界を知る ・命の誕生 ・こんにちは、赤ちゃん ・好奇心いっぱい！ ・子どものいる暮らし ・子どもの仕事は「遊び」 ・子どもの健康と事故 ・親になるということ ・社会で子育て ◎妊婦体験		b	乳幼児期の心身の成長・発達の過程について、自分の子どもと比較しながら考えることができる。また、育児不安や児童虐待などの事例をふまえ、それらの原因および解決方法をまとめたり、発表したりしている。		
		c	乳幼児期の心身の成長・発達とその特徴を、子どもが育つ環境と関連させて考えたり、望ましい子育てへの社会的支援のありかたや支援策について考えようとしている。		
第10章 衣生活のマネジメント	8	a	ライフステージの特徴や課題から、被服の機能及び着装について理解したり、健康と安全、環境に配慮した衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理をすることができる。	・ワークシート ・グループワーク ・成果物 (アイヌ文様刺繍) ・単元テスト	
・人と被服のかかわり ・快適な被服の条件 ・夏は麻、冬は毛の理由 ・健康と安全を守る被服 ・長持ちさせる手入れ ・被服の3R、実践してる？ ・衣生活のPDCA ◎アイヌ文様刺繍 総探②		b	目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について考察し、根拠に基づいて論理的に表現している。		
		c	衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
第11章 住生活のマネジメント	6	a	住生活の特徴や防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。また、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。	・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト	
・住まいを知ろう ・日本の住文化を知ろう ・住む人の生活と住まい ・安全に安心して暮らす					

	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいを長く使う ・住環境をみつめてみよう 		<p>b 住居の計画、防災など安全や環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造について課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する力を身につけている。</p> <p>c 主体的に活動に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭の生活充実・向上を図る方法を考えている。</p>	
--	---	--	--	--

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準	評価方法
後期	第5章 高齢期の生活のマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代の高齢期 ・年をとると変わること ・高齢期の生活を支える ・介護を支える ・これからの高齢社会 ◎高齢者疑似体験・オレンジキャラバン	8	<p>a 加齢にともなう心身の変化と特徴を理解し、それを支える具体的な方法や留意すべきことなどについて理解している。また、高齢社会の現状と課題や高齢者福祉の基本的な理念と近年の高齢者福祉サービスの概要について理解している。</p> <p>b 高齢者が介護を必要とするようになった理由、介護をする家族が直面する問題などを調べたり考え、自分なりにまとめている。</p> <p>c 高齢者の加齢にともなう心身の変化と特徴に関心を持ち、高齢者を肯定的にとらえることができている。高齢者の介助技術を積極的に習得しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
	第9章 食生活のマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・体と心を満たす食事 ・イエローカードかも？ ・栄養バランスのよい食事 ・炭水化物を摂る ・脂質を摂る ・たんぱく質を摂る 	9	<p>a 食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解するとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。</p> <p>b 健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・グループワーク ・成果物（調理実習） ・単元テスト

<ul style="list-style-type: none"> ・無機質を摂る ・ビタミンを摂る ・豊かな食卓に ・食品のプロフィールを知る ・食品を安全に取り扱う ・持続可能な食生活 ・みんなでおいしい食事を ・調理のワザを身につける <p>◎調理実習</p>		c	<p>主体的に食生活を営むことができるよう、様々な人と協働し、食生活の健康について課題解決に取り組んだり、振り返って改善しようとしている。</p>	
<p>第6章 共生社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活課題の乗り越え方 ・みんなで支え合うしくみ ・ともに生き、社会をつくる <p>総探①②</p>	4	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>生活のリスクとそれを支える福祉やセーフティネットワークについて理解する。また、共生社会の理念と重要性について理解している。</p> <p>セーフティネットワークについて、調査・研究し、まとめたり発表したり、共生社会の実現にむけて、自分の生活する地域ではどのようなことができるか、考えを深めたり、発表したりしている。</p> <p>自助・互助・共助・公助のあり方について考えようとしている。また、自分の能力をいかした地域活動について考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
<p>第8章 経済生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活を営むためのお金 ・経済のしくみを知ろう ・お金と上手につきあう術 ・18歳で変わる消費生活 ・進むキャッシュレス社会 ・「お金を借りる」とい 	7	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めているとともに、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解している。</p> <p>自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどしている。</p> <p>消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト

<p>うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルの今 ・消費者の自立を支援する ・情報社会を生きる ・私たちが社会を動かす <p>◎金融教育講話</p>			<p>り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている</p>	
<p>第7章 持続可能な社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球が危ない ・ライフスタイル再考 ・めざせ！持続可能な社会をつくる 	6	a	<p>持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度について理解している。また、資源調達から廃棄までの各段階における環境負荷について検討し、環境に調和した生活を工夫することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・グループワーク ・単元テスト
<p>最終章 生活をデザインする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト <p>◎発表 総探①②③④</p>	5	a	<p>ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・グループワーク ・発表
		b	<p>自己の家庭生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	
		c	<p>課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	

令和7年度年間計画

教科	情報	学年	1	使用 教材	情報Ⅰ
					情報Ⅰサブノート
科目	情報Ⅰ	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
(1)	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2)	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3)	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
B	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
C	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

3 学習方法

<p>(1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に授業に取り組んでください。</p> <p>(2) 授業に関するワークシートや課題プリントを配布します。配布物を整理するために、ファイルを必ず用意してください。</p> <p>(3) 情報Ⅰでは、単に情報活用能力を身につけるのではなく、情報に関わる様々な事象や今日話題になっている問題などを取り上げ、授業を行っていきます。積極的に授業に参加してください。</p> <p>(4) この科目では、情報に関わる諸問題を取り上げ、その問題解決に向けた思考・判断・表現や解決に向けて主体的に取り組む様子等を見ていきます。授業内容への興味・関心を高め、授業に前向きに取り組んでもらえることを期待します。</p>
--

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
4 / 5	○オリエンテーション ○コンピュータと情報処理	1	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始に向けて、今後1年間の授業の流れと評価等についてオリエンテーションを通して理解させる。 BYOD 端末の活用について指導し、授業を円滑に進める一助とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①提出課題の状況 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	○第1章 情報社会の問題解決	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報とは何か、情報の信ぴょう性とは何かを理解させ、クロスチェックの重要性を具体的に理解させる。 情報によって適した表現形式（メディア）が異なり、表現形式の変換が可能なこと、表現形式を変換すると、失われる情報とつけ加わる情報があることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	○第1章 情報社会の問題解決	8	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する法規や制度について理解させるとともに、それらの必要性について考えさせる。 個人情報保護の重要性や活用、肖像権・プライバシー権について理解させる。 著作権と産業財産権の保護の必要性を十分に理解させ、著作権法がどのようなものか具体的に理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
6 / 7 / 8	○第2章 コミュニケーションと情報デザイン ● 2節 情報のデジタル化	10	<ul style="list-style-type: none"> アナログとデジタルの違い、デジタル情報の特徴やメリットを理解させる。 ビットの概念を理解させ、それを表現するための2進法や16進法、さらに2進法を用いた数のデジタル表現、文字のデジタル表現を理解させる。 音、画像、動画のデジタル化の原理を理解させる。 デジタル情報ならではのデータ圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返り

			の原理と具体例について理解させる。	りフォームの記入状況
	● 1 節 メディアとコミュニケーション	4	<ul style="list-style-type: none"> 古代からの技術的な進歩を概観し、コミュニケーション手段の発展について理解させる。 情報を発信するときのメディアの性質と特徴を理解させ、目的や状況に応じて適切なメディアの選択ができる力を身に付けさせる。 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	● 3 節 情報デザイン	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解させるとともに、情報を抽象化・可視化・構造化する方法や表現を工夫する技能を身に付けさせる。 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
		1	◇単元テスト	①解答結果 ②解答結果
12 / 1 / 2	●第3章 情報デザイン	3	<ul style="list-style-type: none"> ユーザビリティやアクセシビリティ、ユニバーサルデザイン等について、身近な具体例を挙げながら理解させる。 	
	○第3章 コンピュータとプログラミング ● 1 節 コンピュータのしくみ	6	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基本的なしくみとはたらき、CPU、メモリ、補助記憶装置、入出力装置、OS、ファイルの基礎について理解させる。 コンピュータの内部における数の表現方法と計算に関する限界について理解させる。 コンピュータで扱われる情報の特徴やコンピュータの能力との関係について考えさせる。 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	● 2 節 アルゴリズムとプログラミング	10	<ul style="list-style-type: none"> 問題の解法を、アルゴリズムを用いて表現する方法を身に付けさせる。 プログラミングの基本的な考え方とコンピュータを活用する方法を理解させる。 プログラミングの技能を身に付けさ 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の

			せるとともに、プログラムを評価し改善する活動を行わせる。	表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	● 3 節 モデル化とシミュレーション	4	<ul style="list-style-type: none"> モデル化やシミュレーションの考え方・手順を理解させ、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法を理解させる。 目的に応じたモデル化やシミュレーションを行わせ、その結果から問題の解決方法を考えさせる。 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	○第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 ● 1 節 情報通信ネットワークのしくみ	6	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータでの通信の基本的な方式やプロトコルなど、インターネットでの通信の原理について理解させる。 パケット通信の原理とメリットについて理解させる。 IP アドレス、ドメイン名、URL などによるインターネットでの電子メール・ウェブ閲覧、暗号の原理など、情報通信ネットワークのしくみや情報セキュリティを確保するための方法について理解させる。 目的や状況に応じて、情報セキュリティを確保する方法について考えさせる。 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
	● 3 節 データの活用	4	<ul style="list-style-type: none"> データを分析する際に必要となる、データの形式、データの収集方法、データの種類について理解させるとともに、それらを扱いデータを分析する技能を身に付けさせる。 数学的なデータ分析の基礎を理解させ、表計算ソフトウェアなどを使って簡単なデータ処理や分析を行わせ、結果の表現方法を考えさせるとともに、それらを評価し改善する活動を行わせる。 	①単元テスト、提出課題 ②ワークシートの取り組み、記述状況 ・提出課題の表現・取り組み状況 ③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況
		1	◇単元テスト	①解答結果 ②解答結果
3	● 2 節 情報システムとデータベース	4	<ul style="list-style-type: none"> データベースの概念や、データベース管理システムの機能について理解させる。 ネットワークを介して情報システムがサービスを提供しているしくみや特 	①単元テストの結果 ②ワークシートの取り組み、記述状況

			<p>徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と影響を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none">・情報システムが提供しているサービスを効果的に活用することについて考えさせる。	<ul style="list-style-type: none">・提出課題の表現・取り組み状況 <p>③学習活動の様子、振り返りフォームの記入状況</p>
--	--	--	---	---

令和7年度年間計画

教科	総合的な探究の時間	学年	1	使用教材	
科目	アイヌ文化 I	単位	1		

1 科目の目標（学習指導要領より）

探究の見方・考え方を働かせて、横断的・総合的にアイヌ文化を学習することを通じて、自己の在り方生き方を考えながら、多文化共生社会の実現に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	アイヌ文化の知識及び技能を身に付け、多文化共生社会の意義と価値を理解する。
(2)	アイヌ文化と自己との関わりから問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3)	アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、アイヌ文化の価値を創造し、多文化共生社会を実現しようとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	アイヌ語やアイヌ工芸を通して、多文化共生社会の実現に必要な知識及び技能を身に付け、多文化共生に関わる概念を形成し、多文化共生の意義と価値を理解している。
B	アイヌ語による作文や討論等を通し、自己の考えをまとめたり、表現している。
C	アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、アイヌ文化に関心を持ち、多文化共生社会を実現しようとしている。

3 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> 学んだことをノートやタブレットなどに記録する。 課題に取り組み、期限内に提出する。
--

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準		評価方法
前期	・自己紹介	2	a	アイヌ語やアイヌ工芸を通して、多文化共生社会の実現に必要な知識及び技能を身に付け、多文化共	・ペアワーク ・グループワーク
	・数の数え方 ・動物名	5			

◎動物名ゲーム ◎二風谷アイヌ文化博物館見学 ◎ジェスチャーゲーム		b c	生に関わる概念を形成し、多文化共生の意義と価値を理解している。 アイヌ語による作文や討論等を通し、自己の考えをまとめたり、表現している。 アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、アイヌ文化に関心を持ち、多文化共生社会を実現しようとしている。	・ワークシート ・木彫り作品 ・振り返りシート
・工芸体験 ◎木彫り ・テアタランギによるアイヌ語学習体験	5			
・アイヌ語地名 ◎ラメトッコロヤン他ビデオ鑑賞	3			
◎北海学園札幌高等学校合同授業	2			
・魚類名 ◎カムイユカラ「ホタルの婿選び」鑑賞 ◎魚類カード神経衰弱 ・身体名称、体のうた	3			

学期	単元・内容	授業時数	単元の評価基準	評価方法
後期	・親族名称 ・アイヌ語の歌 ・オンネパシクル 1 ◎お話し（歌）の暗唱	3	a b c アイヌ語やアイヌ工芸を通して、多文化共生社会の実現に必要な知識及び技能を身に付け、多文化共生に関わる概念を形成し、多文化共生の意義と価値を理解している。 アイヌ語による作文や討論等を通し、自己の考えをまとめたり、表現している。 アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、アイヌ文化に関心を持ち、多文化共生社会を実現しようとしている。	・ペアワーク ・グループワーク ・ワークシート ・木彫り作品 ・振り返りシート
	・工芸体験 ◎アットゥシ ・オンネパシクル 2 ◎お話し（歌）の暗唱	4		
	・アイヌ語のなぞなぞ ・ことわざ、名言紹介	3		
	・現代アイヌ語	1		
	・アイヌ料理体験 ◎イユタ	2		
	・学習成果発表会	2		